プリンセス
小公女セーラ

第22話

『屋根裏のパーティ』

AR台本

企画
制作
日本アニメーション株式会社

プリンセス

小公女セーラ

第二十二話　『屋根裏のパーティ』

登場人物

セーラ……………島本須美
ミンチン…………中西妙子
アメリア…………梨羽由記子
アーメンガード…八百板万紀
ベッキー…………鈴木三枝
ロッティ…………渡辺菜生子
ラビニア…………山田栄子

ジェシー……………飯塚はるみ
ガートルード……………佐々木るん
モーリー……………向殿あさみ
ジェームス……………郷里大輔
リンダ……………
スーザン……………
ペネラピ……………

カメラ	画面		音声
1	一階と二階の間の踊り場のっそり降りてくるシーザーFr・in　大きくのびをして降りかかるとピタッとなるシーザー		声「（生徒の黄色い歓声!!）」
2	院長室前でアメリアを囲んで歓声を上げる生徒たち一同		←〜〜〜〜〜
3	見つめていたが大きくのびをして階段に寝るシーザー		
4	←PAN　リンダ アメリアが手紙を渡す←PAN 手前のテーブルに本の束とお菓子のケース		生徒たち「（アドリブ）」
5	手紙を開けて、うれしそうに文面に眼を走らす生徒 のぞきこむ生徒		アメリア「（アドリブ）」 「（そのつど黄色い歓声がわく）」

6	箱からブローチを取り出してニコニコのロッティ 両側より見とれるペネラビ、スーザン 顔を見合わせて、にこにこする一同		ロッティ「ねー、みて、みて」 ペネラビ、スーザン「うわ〜〜」
7	ジェニファ、送られてきた兄弟の結婚写真をみつめる のぞきこむアーメンガード、生徒の奥で アメリア、アーメンガード、奥に向く		アメリア「さ、アーメンガードさんには、二つも小包みが届いていますよ」
	A・C		←〜〜
8	アーメンガード、生徒の間をぬって手前に 女生徒達騒ぐ アーメンガード、眼を輝かせて		アーメンガード「え、二つも？」
9	アメリア、重そうな四角い小包みをとりあげて アーメンガード、泣顔で		アメリア「ひとつは、お父様からです」 アーメンガード「ま、また本だわ……」

10	ド〜ッと笑う ラビニア他、生徒一同 →PAN 受けとるアーメンガード 顔あげるアーメンガード		アメリア「それから、もう一つは 〜郊外にいらっしゃる小母様からよ」
11	テーブルよりボール箱の小包みを、とりあげるアメリアの手 小包みにつけてPAN←		
12	アーメンガードの喜び 本の包みの上に小箱を重ねて置かれる		アーメンガード「わあー、イライザ小母さんから?!」
13	アメリア、顔あげて一同見渡して		アメリア「はい、これで全部終りですよ」
14	一同、興奮さめやらぬ雰囲気 生徒一同、私語をやめてアメリアをみる		アメリア「ええと……ここでみなさんに、お報せしておくことがあります」
15	アメリア		アメリア「実は私、今夜は親戚の小母の家へ泊りに行くので……この学院にはいない事になります」

16	どっと騒ぐ女生徒一同		
17	アメリア、制して一同みながら		アメリア「（押えて）ですから……今夜はいつものように皆さんのお部屋を廻ってあげられません。夜遅くまでお喋りしていたり、毛布を蹴飛したりしないで静かに、お寝みするのですよ。判りましたね」
18	→ＰＡＮ　生徒一同		
19	顔見合わせるアーメンガードとロッティ、うなづく		一　同「ハーイ」
20	←ＰＡＮ　街の夕方、立ち昇る煙、赤い夕日 蔭が長く尾を引いている←ＰＡＮ　荷物をもったピーターとセーラが急ぎ足でくる		
22	籠をもち合って急ぐ二人、にこにことと		ピーター「よかった……！　破れ靴なんて見ちゃいられませんよ……！」
23	急ぐ二人　―ＳＬ―		セーラ「……靴直しまで出来るピーターって……すばらしいわ……」

		ピーター「いえ……！　この位は何とかかね」
24	夕方のロンドンの屋根 立ち昇る煙	
25	ふりかえってセーラ セーラ、野菜籠を受けとる	セーラ「有難うピーター」
26	広場の横の道を行くセーラ 振り返り止まり、にっこりする セーラ	
27	一寸手前に走り止まり手を振る ピーター	ピーター「お嬢さーん！　またね……！」
28	にっこりと見て行くセーラ	セーラ「有がとう、ピーター!!」
29	心配気な表情で見送るピーター	
30	玄関前で手を振り降りていくセーラ	
31	台所の扉をあけて前へ大きく来	

	32	33	34	35	36
る　ハッと息をのむ　扉をしめる	立ちこめる湯気 忙しく働いていた三人、振り返る―　形相すさまじいジームスとモーリー モーリー、急いで手前に来る	荒い息のセーラ、驚愕の顔	荒々しいモーリー	うつむくセーラー、か細い声で	ガミガミどなるモーリー 奥へ行く、振り返り止まり 奥へ行くモーリー
	モーリー「一体どこで道草……くってたんだい！」 モーリー「買い出しに出てから……もう何時間もたってるじゃないか!!」			セーラ「……ごめんなさい……靴がこわれて……走けなくなって…それで直して貰って……」	モーリー「フン……!!　下手な言い訳や、嘘っぱちは沢山だよ！……そんなにここがいやなら戻って来なくたっていいんだよ！」

No.	画面		台詞
37	うつむいて身を小さくしているセーラ、重そうに荷物をもったまま		
38	モーリー、仕事にかかりイライラと働く手を止め、みつめているベッキー		ジームス「全くだ、今頃帰って来たって今日の夕食に間に合いやしねえんだ〜 献立変た為に院長先生にやどやされちまったんだぞ！」
39	ハラハラとセーラの方とジェームスを見るベッキー		
40	うなだれているセーラ		←〜〜（台詞こぼし） セーラ「……ごめんなさい……」
41	一人、いらいらと両方を見較べるベッキー		
42	ベッキー、心配げにセーラを見る　モーリー、ジェームスの方を見るベッキー		ベッキー「あのオ……」
43	仕事をしたまま		モーリー「何んだい……」

44	オッオッとうかがうベッキー 肩をいからせるモーリー		ベッキー「セーラさんに食事を用意してあげて もいいでしょうか……」 モーリー「なんだって……?」
45	キッとした目付で振り返り、に らむモーリー		
46	うなだれているセーラ		
47	ベッキー、セーラより顔を上げ てモーリーへ、ゆっくりもどし て顔正面		ベッキー「セーラさんは、お昼もまだなんです」
48	モーリー、語気強く しかし、とぼける		モーリー「知らないね、そんな事」
49	ベッキー、ハッとしてモーリー を見上げる　ゆっくり顔もどす		
50	セーラ、力なくうつむいている はっと見上げる		モーリー(off)「……セーラ」
51	づかづかと前に来るモーリー		モーリー「食べるものを食べさせて貰いたきゃ

			ぐずぐずしないで早く仕事をするんだ！」
52	叩頭して 台所の方へ行くセーラー くるりと振りむいて手前に来る モーリー		セーラ　「ハイ……モーリーさん！」
53A	仕事をはじめるモーリーたちを 見ていたベッキーoutしていく		
53B	籠から買物を出しているセーラ の傍に寄って		ベッキー「お嬢様!!」
54	セーラに囁くベッキー セーラ、弱々しく微笑む		ベッキー「戸棚に古いパンが取ってあります、 紅茶をひたせば食べられますから」 セーラ「有難うベッキー」
55	モーリー、顔をあげる		モーリー「ベッキー！」
56	ギョッとするベッキー		
57	モーリー、机に湯気の立つ鍋を もってきておく		モーリー「セーラは夕食は抜きなんだからね、 余計な手助けしたら

58	呆然と見るベッキーとセーラ T・U 悲しそうなセーラの顔		承知しないよ。ジェームス……残りも ののパンを片付けておしまいよ」 ジェームス(off)「ああ……そうしょう！」
59	ジェームス、振り返り		ジェームス「さ、二人とも仕事だ、仕事だ！」
60	呆然と見つめるベッキー ゆっくりふりむくセーラ 二人、顔見合わせてガックリ		
61	外灯なめてミンチン学院 外灯明りつく		
62	点燈夫が明りをつけている		
63	街、夜更けて　↑ＰＡＮ・ＵＰ 地下作業場のみランプの灯 裏庭より消えて二Ｆの灯り		
64	アーメンガードの部屋 ランプを消すジェシーの手		
65			ジェシー「おやすみ」

	ベットもぐりこむジェシー、ガートルード		ガートルード「おやすみ」
66	毛布をもち上げるアーメンガード ベットにもぐりこむ		アーメンガード「……おやすみなさい」
67	夜　階段を昇るミンチンのスカート		
68	二階へ昇ってくるミンチン 手前に止まる		
69	二階　ＰＡＮ←　閉っているドア		
70	確めて終りうなづき三Ｆへ行くミンチン		
71	寝ているジェシーとガートルード		

72	73	74	75	76	77
寝いるアーメンガード ラビニアのベットなめてアーメ ンガード、体を起こす 二人の方を見ている ベットをひそかに抜け出す ショールを肩にかけて、手前に くる　のぞきこむ	ジェシー、ガートルード、寝て いる	ニッコリ、アーメンガード ドアの方みる	ロッティの部屋のドア開いてロ ッティ顔出す　ＰＡＮ→ アーメンガード顔を出す 赤いショールをしている	うなづくアーメンガード	ロッティ、静かにドア閉めると スソをもってヒョコヒョコ手前

	78	79	80	80	81
にくる inするアーメンガード 二人、ニカーッ 静かに手前に真剣な顔	くらい三Fの階段	同地下洗い場 沢山の皿を洗う　手前セーラ 奥ベッキーの手	食器類を洗うベッキー、セーラ セーラ、水を汲む ベッキー、みる	水を少々のんでオケにあけて、 再び洗い出す 遅れて気づくセーラ	ベッキー、明るく ベッキー、顔もどして元気よく 洗い出す
				ベッキー「お嬢様」 セーラ「え……」	ベッキー「ここは私がやりますから、お嬢様は 先にお部屋に戻って下さいまし」

83	セーラ、洗い出す	セーラ　「いけないわ、私だけ先になんて」
84	ベッキー、ふりむく	ベッキー「いえ、私は夕食は頂いてるんですから……」
85	セーラ、手を止める 洗い始めるベッキー、のりだし	セーラ　「でも……」 ベッキー「お嬢様 〜 私も、憶えがあるのでよく存じています。 〜 食事を抜かれた晩は体中の力が抜けて 〜 とても働けるものじゃございません 〜 ここから屋根裏部屋まで階段を上がる事だって、どんなに大変だか知れませんでした。ですから今夜は……」
86	セーラ、想い出すまいと必死だが弱々しくなる	
87	洗うセーラの手、しだいに遅くなって止まる	
88	ベッキー	
89	セーラ、洗うのをやめて　T・U ふりむくセーラ、顔ゆっくり戻す	セーラ　「あ…有難うベッキー」

90	セーラの足、重そうに
91	ＦＯＬＬＯＷ　階段を昇る
92	階段を昇るセーラの足↖
93	三Ｆの扉ひらかれて入ってくるセーラ 扉しめて壁にもたれかかるセーラ
94A	もたれかかっていたが、息を大きくついている ゆっくりと上を見上げるセーラ
94B	まだ続く階段暗いー!!　アオリ
95	大きく息をして昇り始めるセーラ
96	昇るセーラ、壁にすがって
97	壁にすがり休み休み昇ってくる

	セーラ		
98	力なく昇る足		
99	屋根裏部屋の階段昇ってくるセーラ　ふと立ち止まる		
100	セーラの部屋から明りがもれている		
101	セーラ、ゆっくり微笑みに		セーラ「まあ、アーメンガードが来てくれているんだわ」
102A	同屋根裏部屋 ↑PAN　セーラのベットの上ロッティとアーメンガード、抱きあっている		S・E　（ネズミの声）
102B	セーラ、扉をあける		
103	アーメンガード、ロッティ、ドアの方みて飛び降りる ロッティ、ほっとして		ロッティ「セーラママ」

	と二人またドキッとしてベットにもどる　視線ダンシロ方向		ロッティ「ウワ〜〜」 アーメンガード「ひえ〜〜」
104	セーラ、眼を輝かせてin カメラフカン		セーラ「アーメンガード、ロッティ……よく来られたわね」 ロッティ「うん、今夜はアメリア先生いないの」 セーラ「え……」
105	ロッティ		ロッティ「親戚へ泊りに行くんですって、だから今夜は寝室を見廻りに来ないわ」
106	アーメンガード、のりだしていたずらっぽく		アーメンガード「朝までここにいたって平気よ」
107	セーラ、二人を見て		セーラ「まあ〜、それで待っていてくれたのね」
108	アーメンガード、ダンロの方みて　ふりむくセーラ		アーメンガード「ええ……でも怖かったわ……ネズミ達が出て来て嗅ぎ廻ったり、〜 ベットの上に飛び上がりそうになったり……」
109	ダンロ脇の穴にT・U メル一家、出てくる		セーラ(off)「まあ……メルが……！」

110	わーとなってロッティ、アーメンガード やおらしがみついて立つ	
111	A・C ロッティとアーメンガード、二人、しがみついてベットの上 ネズミFr・in セーラ、手前に歩いてくる	ロッティ「ほらね、私、ビスケットあげたんだけど、もうなくなっちゃったの」
112	ネズミ出てくる　セーラin セーラ、ヒザをつく	
113	近づいてくるネズミ	
114	アオリ　セーラ 淋しそうに頭をふる	
115	ネズミ達、チュー、チュー、チュー	
116	セーラ、顔近づけて	セーラ「そお……ごめんなさい、メル。私も今夜はなにも食べるものを持って来てあげられなかったのよ」

117	ネズミ、穴に帰って行く ↑PAN　メル一家、鼻を動か して残念そうに		
118	見送るセーラ 右をみてハッとするセーラ		
119	テーブルの上に置かれた十冊程 の分厚い本		
120	ゆっくり立つセーラ、歩く PAN→　テーブルの上の本を みつめる アーメンガード、げんなりと肩 をすくめる セーラ、本をとる		セーラ「まあ……どうしたの、この本」 アーメンガード「また、お父さんが送ってよこ したの…あなたなら読めるかと思って」
121	ランプにかざす「カーライルの フランス革命史」		
122	セーラ、大きく輝いて ベットにすわるロッティとアー メンガード　PAN→		セーラ「まあ……カーライルのフランス革命 史ね」

	アーメンガード、驚き セーラ、みて顔もどす	アーメンガード「え、知ってるの？　そんな本のごと」 セーラ「ええ……」
123	T・U　本	
124	セーラ、本を抱きしめる	セーラ「いつか、お父様に買って頂こうと思っていた本よ」
125	アーメンガード、悲しげに肩をすくめて アーメンガード、視線を本へ	アーメンガード「うちのお父さんたら、私に夏休みまでに、その本を読んで憶えておくようにですって」
126	セーラ、アーメンガードみる	セーラ「まあ……」
127	アーメンガード、涙ぐむ オーバーに	アーメンガード「（涙ぐむ）とても無理よ」
128	セーラ、みつめている　パッと明るく　手前にセーラ	セーラ「いいわ、アーメンガード」
129	セーラ、アーメンガードの手をとって	セーラ「私が先に読んで少しづつ、あなたにお話してあげるわ、それなら、きっと

			憶えられるわ」
130	アーメンガード、喜び		アーメンガード「え…ほんと」
131	セーラ、うなづく		
132	暗い台所　扉を尻であけて入ってくるベッキー		
133	ベッキー、オーブンに近づいてテーブルに足をひっかけるよろめく　オーブンを開く		
134	オーブンより取り出す肉パイの器		
135	下から肉パイの器　においをかぐ　ム～ン　良い、おいしそう		
136	ベッキー、地下より一階への階段を昇る 使用人室からジェームスのいびき		

137	一階ホール、二階へ昇る		
139	昇るベッキー　FOLLOW		
140	ベッキーの足		
141	階段を昇るベッキー		
142	三階廊下　現れるベッキー 止る　ミンチンの部屋、左右を 見てにっこりして前を通りすぎ る　突然ドアが開く ドキッとなって止まるベッキー		
143	部屋より出てくるミンチン、ガ ウン姿		
144	ベッキー、ふりむく　仰天		ベッキー「あ……院長先生」
145	ミンチン近づく ふるえるベッキー		ミンチン「なんです、その入れものは？」 ベッキー「は…はい……こ、これは、アメリア 先生が、いつも夜食に召上がる肉パイ で、今夜もお運びするようにと……」

			ミンチン「嘘を仰言ゃい！」
146			ベッキー「えっ？……」
147			ミンチン「アメリアは、先刻親戚へ泊りに出掛けています」
148	ベッキー、驚愕　カメラフカン		ベッキー「えー!!」
149	ミンチンの怒り		ミンチン「ベッキー！　一体誰に頼まれて、そんなものを勝手に作ったのです」
150	ベッキー、ふるえている T・U		ベッキー「……」 ミンチン「さ、云うんです。云わないと」
151	ミンチン 大きく平手を振り上げる		
152	ギョとする ベッキー		

153	本を読んでいたセーラ　はっとなり、バタンと本を閉じ、扉の方を見る		
154	ぱっと立ち上がる ぎっくとなったアーメンガードとロッティ、?!となった顔でセーラを見つめる 本を椅子に置いて扉の方へ走るセーラ　見送る二人		
155	扉をそうっと開けて外をうかがうセーラ		
156	驚いてドアの方を見ている二人		
157	C#　兼用　驚いて二人の方を見る		セーラ　「ベッキーだわ。ベッキーが院長先生に叱られているんだわ」
158	アーメンガード、ロッティ、驚ろく		アーメンガード「ええ――ッ!」
159	同三階の廊下　ミンチン画面前		ミンチン「さ、云いなさい!　一体この肉パイ

	に肉パイの皿を突き出して		を誰が食べる筈だったのです」
160	肉パイの皿なめてベッキー（頬赤くなっている。叩かれた跡） 目に一杯の泪　T・U		ベッキー「（泣く）お許し下さいまし、…私、 あまりお腹がすいたので… 自分の部屋で頂こうと…」
161	ミンチン呆れて		ミンチン「…なんですって……」
162	ベッキー顔をあげる		ベッキー「ほんとうです」
163	ベッキー、ゆっくりうなだれていく		ベッキー「……私、ひとりで食べるつもりだったんです」 ミンチン「呆れた！ 〜 お前のような意地汚しは、許すわけに 〜〜〜 はいきません。この学院から出ていきなさい」
164	ラビニアの部屋、そっとドアが開き、ラビニアのぞき見る		
165	ラビニアとドアなめてベッキー		
166	はっとなって顔を上げるベッキー　泪が一条流れおちる		ベッキー「お、お許し下さい 院長先生〜〜 〜

167	セーラの部屋　耐えながら聞いている　T・B		……おねがい致します！　…院長先生、私を追い出さないで下さい……」
168	セーラ（ドアのところ）アーメンガード、ロッティ、身を硬くして聞き入る バタンとドアの音。階段を昇る音		ミンチン「やかましい！　さあ、さっさと部屋へ行くんです！」
169	ハッとするアーメンガード（ショールをしている）		アーメンガード「大変。院長先生がくるわ」
170	ロッティあたふたと		ロッティ「どうしよう！」
171	ドアを閉めたセーラふりむき（正面）		セーラ　「灯を消して」
172	どぎまぎしているアーメンガードとロッティ その前を横切る		
173	セーラ来て、本の上のランプを吹き消すセーラ　BG、O・L		

	明↓暗		
174	あわてふためくアーメンガードとロッティ　部屋の隅に急ぐ、うずくまる（その時、アーメンガードの赤いショールがおちる		
175	落ちる赤いショールとテーブルのセーラ		
176	ドアの開く音　ギクッとなるセーラ		
177	眼をつぶるロッティとアーメンガード		S・E　（ドアの閉まる音）
178	セーラ　うかがって　ホッとしたように体を向ける		
179	ベッキー戸口でふりむくと同時にベッキー頬をおさえる（かくす）セーラ、ベッキーの方へ		セーラ　「ベッキー」 ベッキー「あ、お嬢様ー」

180	ホッとしてふり向く部屋の隅のロッティ、アーメンガード		ベッキーoff「お許し下さい 私、お嬢様に食べて頂こうと肉パイをお作りしたんですけど、院長先生に見つかってしまって…」
181	ベッキー（頬に手）セーラ、扉前で　ゆっくりT・U（頭、尻止めなく		
182	ベッキーなめてセーラ　驚き		セーラ「……なんですって…」
183	ベッキー頬をおさえて　意外に明るく		ベッキー「でも大丈夫です。私、お嬢様にお作りしたなんて、ひとことも云わないで頑張りました。お蔭でひどく叩かれましたけど、心配はいりませんです」
184	セーラ瞳がうごく　セリフ（2+12）めより　みつめる		セーラ「ベッキー」
185	ベッキー頬をおさえている、その手をセーラの手が離す ベッキーの頬、赤く		
186	セーラ見つめる　瞳が動く セーラ、見る		アーメンガードoff「セ、セーラ…」 セーラ「え…」

187	部屋の隅よりアーメンガードとロッティ　手前に歩いてくる止まる	アーメンガード「あの、もしかしたら、あなたたち、ひどくおなかがすいていたんじゃなくて？」
188	セーラとベッキー顔見合わせて下向き加減に顔もどす	
189	アーメンガード、のりだして	アーメンガード「ごめんなさい…私、ボンヤリだから気がつかなかったの……あなた、私が大好きな小母さんの事、憶えている？」
190		セーラ「勿論よ…イライザ小母さんでは？」
191	アーメンガードうなづく明るく	アーメンガード「ええ…。実はあの小母さんが今日お菓子の包みを送ってくれたの」
192	向きなおってセーラ	セーラ「まあ～」
193	アーメンガード明るく	アーメンガード「それを、私また忘れて…今、取ってくるわ。みんなで食べましょう」

194	ロッティ大嬉び		ロッティ「わぁ〜〜」
195	セーラの後よりベッキー顔を出す　セーラ見る　ベッキー近づく		セーラ　「有難うアーメンガード……。でも今降りて行ったら院長先生に…」 ベッキー「お嬢様。大丈夫だと〜〜〜思います。院長先生はお部屋に戻りましたから。今頃きっと」
196	ベッキー、カメラに近づく（半歩） ベッキー、アーメンガードを見る		
197	同　ミンチンの寝室　ベッドに入ったミンチン、肉パイを喰う　喉につかえる　手前の水さしに（ワイン）手を伸し、毛布ずり落ちる　コップにあけて、ゴクンと飲み干す		
198	セーラ、ベッキーよりアーメンガードへ アーメンガード大きく頷き、手		セーラ　「そう。じゃー、アーメンガード、気をつけてね」

	前に（ベッキーと入れ違いに）くる		
199	アーメンガード扉をあけて出ていく。見送ったセーラほっとして、ベッキーと顔見合わせてにっこりする ……大きく一人うなづく キョトンとなるベッキー		セーラ「そうだ！　これから四人で、パーティを開くのよ」
200	ロッティ大はしゃぎ		ロッティ「わぁ――イ！」
201	セーラかがみこんで ロッティくるっとふりむく ロッティ口に手をあてて大きくうなづく。ニターッとなって、ハッと気づく		セーラ「シィ――。さあ、テーブルの仕度をしなくては」 ロッティ「あ…」
202	アーメンガードのショール落ちている　ロッティ in　拾いあげて		
203	振り返り、ショール差し上げて		ロッティ「アーメンガードのショールよ」

	セーラ来て うなづくロッティ		セーラ　「丁度いいわ、テーブルクロスに借りましょう」
204	ベッキー		ベッキー「私、部屋へ行って飾れそうなものを探して来ます」
205	ショールを拡げたセーラふりむく　ロッティ本を運ぶ		セーラ　「ええ、お願いね、ベッキー」
206	同　三階の廊下　扉を閉め振り返り足早にくるアーメンガード手前に来て　止まる		
207	ミンチンの部屋を右手に見ながら、ソロリソロリと階段に向う　階段まで行くとダ――ッと駆け降りる　パジャマが舞う		
208	階段　手スリの所でシーザー寝ている　アーメンガード、サーッと駆け降りる　Fr・out　シーザーむっくり眼をさます　大欠伸		

209	ベッキー、例のつづらをひっぱり出す		
210	フタをあけるベッキー　中から何かをとり出す仕草		
211	アーメンガードの部屋（室内より）　戸がそっと開く。入ってくる。止まる		
212	寝ているジェシー、ガートルート　inアーメンガード確かめて右へ　Fr・out		
213	アーメンガード、ベッドに行く枕の脇にボール箱　かかえてもどってくる		
214	奥に、ジェシー、ガートルート寝ている　アーメンガード、ボール箱をかかえて←（in～out）ドアが閉る 同時に体を起こすジェシー、ガ		S・E　（扉の閉る音） ジェシー「ね、云った通りでしょ」

	ートルート		
215	ガートルート 手前向いて		ガートルート「ほんと ラビニアに知らせるのよ」
216	うんとうなづくジェシー ガートルート、ジェシー、ペッ ドをおり　脱け出して		
217	アーメンガードの足がin（速く） ゆっくり、歩調になる		
218	アーメンガードそっと行く のり出して見守るシーザー パッと右下を見る　ミャーンと 鳴きかけるとガートルートの手 が口をふさぐ　ガートルート、 ジェシーin（ひそやかにゆっく りと）		
219	追って階段を昇ってくる 止まる二人　一度下に見えなく なる　－間－　顔をのぞかせて		S・E　（扉の開閉の音）

	手前に歩いてく二人 ラビニアの部屋ノック		
220	扉が開く　ラビニア現われる		
221	テーブルに赤いショール　PAN→ ハンカチが広げられて、レース のふちが上の方にそりかえって いる。セーラ、ハンカチのしわ をのばしている　尻		
222	セーラ顔をあげて		セーラ　「ベッキー悪いけど、その帽子を貸し て下さらない」
223	椅子を運んでいたベッキー ベッキー帽子をとりながら ロッティ木箱をもってin ベッキー帽子をわたす		ベッキー「帽子でございますか」 セーラ「そうよ」 ベッキー「あの、これはなんのお役に立つんで しょうか」
224	セーラ、帽子を受け取り　ベッ キーの帽子から盛り花を作る		セーラ　「これはね、パーティ用の真白な盛り 花のつもりなの…」

225	ベッキーとロッティ顔見合せて もどす		
226	赤いショールのテーブルクロス に置かれる盛り花		
227	驚くロッティ 感心するベッキー 感嘆の表情、ロッティより		ロッティ「わぁー、ほんとの花みたい」 ベッキー「なる程、立派なつもりでございます わ」
228	アーメンガード入ってくる		
229	アーメンガード、一同の所へ（ 箱をかかえている）in		セーラ「あ、アーメンガード……大丈夫だ ったの」
230	アーメンガード来て、セーラに ロッティに ベッキーに		アーメンガード「ええ、うまくやったわ。 みんなグウグウ 寝てたもの」
231	セーラ、眼を輝かせて		セーラ「よかった。さ、パーティのお料理の 飾りつけよ」
232	ロッティ感激の余り		ロッティ「わぁ〜〜〜い」

	アーメンガード、ファ〜ッと踊るように（つま先歩きの感じ）		
233	ラビニアの部屋　ジェシー一歩前に		ジェシー「え、じゃずっとあなた気がついていたの？」
234	寝室、ドア開いているランプの灯で明るい		ラビニアの声「決ってるでしょ。ベッキーが院長先生に叱られてから、眼をさましてたのよ」〜
235	寝室、戸なめて二人、顔見合わせてもどす		ガートルート「で、どうするの、セーラたちのこと」
236	↑PAN-UP　ガウンを着て出てくるinラビニア　FIX		ラビニア「フン、二度と屋根裏部屋で、勝手なことが出来ないよう、注意してあげるだけよ」
237	屋根裏部屋　手製のクッキーを皿の形に並べたハンカチに置く　セーラの手F in		
238	ロッティの前にクッキーを置く		

	セーラの手		
239	ボンボンをボール箱より取り出して		セーラ「よくって? 〜 ここは屋根裏部屋なんかじゃなくって マリーアントワネットがいたヴェルサ イユ宮殿の大広間なのよ」
240	←PAN　セーラ、ボンボンを 取り分け、置く		
241	アーメンガード見回わす		アーメンガード「え、ここが?」
242	天窓PAN・D↓ダンロ		(off) セーラ「えー!!」 セーラ「シ――ィ。そのつもりになるのよ 〜 私達はその宮殿の侍女達なの」
243	セーラのりだしている　うなづく一同　P.A.N→　一同真剣に 聞く（眼を輝かせて）		
244	セーラ		セーラ「間もなく国王ルイ十六世に招かれた 貴族達が、パーティに集まってくるの」
245	ロッティ大きく眼を見開いて、 目パチ		ロッティ「ほんと?」

246	セーラ、ロッティに ロッティ、セーラみる「?!」		セーラ「つーも、り、よ」 ベッキー「つもりでございますね」
247	ベッキー立っている　目をとじ 顔はへんな風にゆがめ、手をし っかりとにぎりしめ腰のところ にあてがっている（重いものを 必死に持ちあげようとしている 感じ）		
248	呆然としてのりだしてみつめる アーメンガード、ロッティ、セ ーラ		
249	必死につもりになるベッキー 顔ひきつる　ブルブルふるえて いる　FIX　↑PAN・UP		
250	ベッキー懸命である　アーメン ガード立ちあがる ベッキー力んで		セーラ「ベッキー、なにをしているの」 ベッキー「はい、私、今…宮殿の侍女に… 〜 なろうとしてたんでございます」
251	ベッキー必死		

252	呆然としてみつめながら、うなづく一同　アーメンガードもロッティもつられて力味	
253	ベッキー更に必死につもりになる　兼用↓PAN・DOWN　手の力味	ベッキー「でも…お嬢様、つもりになるって、随分力が入るもんでございますね」
254	ロッティ、アーメンガードもつられて力む　セーラ	セーラ「大丈夫よ、そんなに力まなくても…」
255	力を抜くベッキー　ホッ…	
256	セーラ微笑んで　顔もどす	セーラ「さ、お料理はそろったわね」
257	着席するアーメンガード、クッキーを見ながら	アーメンガード「ええ、イライザ叔母さんが…〜〜作ったクッキーとケーキと」
258	ロッティ、ベッキーも着席、クッキーを見つめる	
259	三人セーラをみる　セーラ着席	セーラ「シ———ィ」

260	セーラ体を前に		セーラ　「クッキーとケーキじゃないわ 〜 ここに並んでいるのは特別に焼かせた 王宮のステーキと肉パイよ」
261	一同、見つめる　えっ…… PAN←　ロッティ、アーメン ガード、テーブルをみる		ロッティ「ええ――」
262	ベッキーもテーブルを大きな眼 でみる		
263	↖PAN　PANの中で、クッ キー、ケーキがステーキと肉パ イにO・L。皿が金の器にO・ L　カットの中頃以降で（現実 からスタート）		セーラ（声）「それに、お料理をのせてあるお 皿は全て金で出来ているの……」
264	テーブルを見るセーラ　現実B G　右をみる		セーラ　「ほらね そして… 〜 床には…… ほら… フカフカのジュータンが敷きつめられ ているわ」
265	セーラ立ちあがる　ロッティ、 ベッキー、アーメンガード、セ ーラをみる　止まる セーラ、言いながら歩き出す 現実BG		

266	セーラ、足の下に敷物がしいてあるかのように、足をあげて歩く　Fr・out　現実ＢＧ		
267	歩いて、セーラ、ダンロの所へ現実ＢＧ　グンロ内紙くず　マッチをつける　ボーとセーラの周りが明るくなる		
268	紙クズが大きく燃え広がる ＢＧ二枚Ｏ・Ｌ　やや暗↓明へ		
269	炎のてりかえしが室内に反映する（ＢＧ二枚のＯ・Ｌくりかえし）　現実ＢＧ　セーラ見上げる		セーラ　「天井にはシャンデリア」
270	ＢＧ二枚Ｏ・Ｌ　炎の反映 三人、天井を見あげる		
271	宮廷の天井、シャンデリアＦ１と現実の天井のダブラシ↓ＰＡＮ （密マルチ）　セーラ		セーラ(off)「ここは宴会の大広間よ… そして、私達は美しい侍女なのよ」

	セーラ、手を差しのべる動きの中でO・L　セーラ侍女になる（カット尻）		
272	現実BG　二枚O・L（炎の反映）　セーラの手（侍女衣裳）になる　アーメンガード、ベッキー、ロッティ、立ちあがっている　一同見廻てにっこりする　アーメンガード、セーラの手をとって、引きよせられる		セーラ　「さあ、大広間の方へ……」
273A	城内を行く四人　PAN・UP↑ 旗　密マルチ		
273B	来て見てのぞく一同		三人　「わ……すごい!!」
273C	大広間に大きなテーブル、豪華な食事が並び、燭台が明るく照らす　PAN←（密マルチ）		セーラ(off)「丸天井で吟遊詩人の歌う舞台もあり」
274	ロッティとベッキー、眼輝やかせている　見合わせてにっこり		

	する二人		
275	↑PAN（密マルチ）かしの木の燃える炉 その奥に舞とう会の貴婦人達		セーラ「かしの木のもえている大きな炉もある。そして、四方にロウソクをともして、きらきら輝いている」
276	宮廷内BG シャンデリアetc 宴会の貴婦人達 PAN→ 侍女姿のセーラ、アーメンガード ベッキー、ロッティ等		
277	ラッパが上り、 鳴る		
278	ラッパを吹く兵士		
279	ベッキー、アーメンガード、ロッティ夢心地		
280	めぐらすセーラ		
281	宮廷BG 大宴会場 ラッパの兵隊 かしづく貴婦人達PAN↙		

282	眼を見張る一同 PAN←		セーラ「さ、国王とマリーアントワネットが 大広間にお目見えになるわ！」
283	扉にT・U かしづく貴婦人達 脇の扉開かれる 透過光（ピン ク） ジレエフトで浮女王！ （コイピンク）		ミンチンの声「なにをしているのです！」
284	イメージBG O・L ノーマ ルへ ハッとするセーラ		
285	呆然とする一同		
286	戸口にミンチン		
287	ギョッとする三人 PAN→ セーラ息をのんでいる		
288	ミンチン、手前半歩くる にら みつける		ミンチン「こんな大それたことをしてたなんて
289			ラビニアさんが報せてくれなかったら 朝まで見逃す所でした」

290		ミンチン「さ、みんな早く片付けるんです」
291	ベッキー、アーメンガード、ロッティ、すごすごと左へFr・out つづくセーラ 立ちどまってセーラ、見る	ミンチン「セーラ」
292	セーラなめてミンチン	ミンチン「この計画がアーメンガードから出たものでない事は判っています」
293	片付けていたアーメンガードふりむく	アーメンガード「あの、私セーラがおなかがすいていると思って」
294	ミンチン、アーメンガードを見て　顔もどして	ミンチン「あなたは黙って！ セーラ、お前には明日はっきりとおしおきをする事にします」
295	セーラを見つめるアーメンガード、ロッティ アーメンガード、ロッティ、箱をかかえてFr・out ベッキー、テーブル手前回って ベッキー泣き顔で出ていくFr out	ミンチン「アーメンガード、ロッティ、部屋へ戻るんです」 ミンチン「ベッキー、お前もです」 ミンチン「いいですねセーラ！」

	顔をあげるセーラ		
296	ミンチン戸口で、ちょっとふりむいて 扉しまる　ドスン		ミンチン「お前は明日の朝も、昼も、夜も、食事抜きです！」
297	驚愕の表情のセーラ　悲しい顔に		
298	じっと立ち尽す　ふと力が抜ける　テーブルに手をつく　うつむく		
299	エミリーとセーラ		
300	紙くずの燃えかすが消える ネズミのメルが出てくる		
301	立ち尽すセーラの足　ネズミのメル、セーラの足元で鳴く		
302	しばらく気づかない　やっと気がついてしゃがむ		

A・C

No.	画面		台詞
303	しゃがむセーラ　メルを見つめる　鳴くメル　A・C		
304	セーラ力なく		セーラ　「ごめんなさいメル…あなたの家族も御招待するつもりだったのだけど、パーティはこの通り消えてしまったのよ」
305	メル鳴く　セーラゆっくり立つ　ベットまで行く　一回位ぐらつく　ヘッドに両手をつく		
306	腹がへった、苦しそうに大きく息　ゆっくり体を横たえる　エミリーを抱き上げる		セーラ（呟き）「炉はあかあかともえていることにする……テーブルの上には、暖かい…暖かい晩の食事のしたくができている　～　それから……美しいやわらかいベットで——、毛布と、大きなふかふかした枕がある。それから…それから……」
307	セーラ　横たえる　呟き　エミリーを抱いて、セーラ寝る　T・U		
308	メル一家じっと見つめている		
309	天窓から月光　ベットでうつぶ		セーラⓂ「つもりのパーティは夢と消えました。」

してねてしまう

……でもそのわずかな時間だけでも、私は辛い事も、ひどくおなかがすいている事も、やっと忘れられたのです」

（おわり）